



知っておきたい

# 心の健康教室

vol.5



今回のテーマ

## …… 〈自殺を防ぐ世界と日本の取り組み〉 ……

### 自殺総合対策の 基本認識

pick up!

第4次自殺総合対策大綱  
(2022年10月14日閣議決定)より

- ◆自殺は、その多くが追い込まれた末の死である
- ◆年間自殺者数は減少傾向にあるが、非常事態はまだまだ続いている
- ◆新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた対策の推進
- ◆地域レベルの実践的な取り組みをPDCAサイクルを通じて推進する

新型コロナウイルスについての  
基本認識は第4次大綱で  
新たに追加されました。



### 社会全体で 取り組むべき自殺問題

日本の自殺率は先進7カ国で高い水準にあり、2019年には総数で最も高くなっています。また、10〜20代の若年層の死因1位が「自殺」となっているのは日本のみという調査結果も出ています。一方、2022年の警察庁の年齢別統計によると、40〜60代の中高年の自殺者が最も多くなっています。

失業率と自殺率に強い相関関係があることは従来から分かっていたことですが、コロナ禍以降は、若年層に加え非正規雇用の女性労働者の自殺増加も指摘されており、中高年だ

けでなく、若者や女性など幅広い年齢層・立場の人を対象とした社会的対策が求められています。

### 誰もが生きやすい 社会を目指して

WHOは1999年から、世界自殺予防戦略(SUPRE)をスタートしました。自殺問題は多くの社会でタブー視されているため、議論されることも少なく、予防策が不明確であることが課題であるとして、自殺による死亡率の調査や地域・国単位でのワークショップの開催などの活動が進められています。

日本では、2006年に自殺対策基本法が成立し、自殺対策を社会的

取り組みとして進めていく国の制度的枠組みができました。自殺対策基本法では、国、地方公共団体、事業主、国民のそれぞれの責務が明文化されており、具体的な施策などは「自殺総合対策大綱」で示されています。自殺問題をタブー視することなく、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現をもとに目指しましょう。



#### +1 健康info

### 総合対策で重要視される施策

#### ① 子ども・若者の自殺対策の推進

学生・生徒への支援充実、SOSの出し方に関する教育の推進、子ども・若者への支援や若者の特性に応じた支援の充実など(一部抜粋)

#### ② 女性の自殺対策をさらに推進

妊産婦への支援の充実、コロナ禍で顕在化した課題を踏まえた女性支援、困難な問題を抱える女性への支援

他、11項目の重点施策があります。